

児童発達支援・ 放課後等デイサービスにおける 支援プログラム公表について

株式会社アースオペレーション
こぱんはうすさくら 戸坂教室

作成日 : 2025年 12月 24日



法人理念

- 自立支援の力を育て、未来へつなぐ、それが私たちの使命です
- できることを伸ばし、できないことは一緒にトライ
- できる限り自身の力でものごとが進められるように、支援します

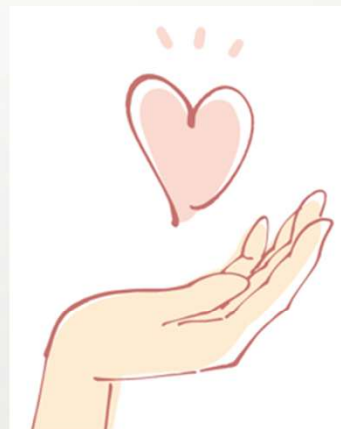


自立の力を育て未来へつなぎます

身近の自立を目指し、できる限り自身の力で。基本的には集団の中で支援を行います
が一人一人の個性に合わせ個別支援も行い
ます。

子どもの心を育て笑顔へつなぎます

自信にあふれた笑顔を引き出せるよう支援します。
ゆたかな心に笑顔という魔法のエッセンスを。



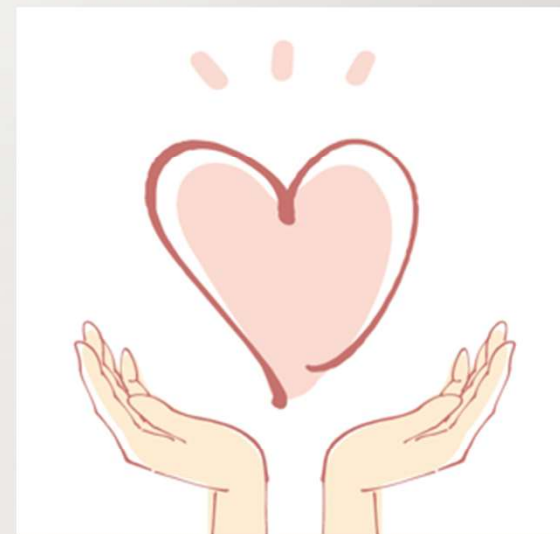
自身の表現できる力を育て仲間へつなぎます

感情の表現、気持ちを伝える大切さ、お話しやジェスチャーな
ど一人一人にアプローチしていきます。こぱんはうすさくらは
「じぶんらしくいられる」そんな場所です。



ご家族さまと共に、夢を咲かせます

私たちだけでなくご家族さま、学校、地域と連携し
チームで子どもたちを支えます。



健康・生活



手洗い・うがい

感染対策は基より、
生活習慣においての
ルールの一環として
手洗い・うがいを行います



トイレトレーニング

個々の個性や特性に応じ
色々な角度から
アプローチし
トレーニングを行います



食事

はしやスプーンを使い、
自身で食事が
できるようトレーニングを
行います



準備・片付け

行う事にあわせ何が必要かを
自身で考え準備します
又、自由に遊ぶ際の玩具の
片付けの時間明示を
取り入れたトレーニングを行います

健康・生活



クッキング

在室時間の長い日を利用し、調理体験の場を提供。材料の準備から調理の工程を学びます。
集団行動で協力性もトレーニングできます



掃除

皆で掃除の時間を共有し掃除の必要性・効率性を学び自身が利用した場所の維持管理やマナーを学び習慣化していきます



避難訓練

地震や火災を想定した避難訓練を年2回実施します
災害の怖さ、災害時の行動の仕方を学びます
消防署に見学に行くこともあります



各種イベント行事

土日祝日、長期休暇の際各テーマを考え
外出活動や、教室での季節のイベントを準備から皆で協力し開催します
電車・バスの乗り方、過ごし方もトレーニングします

運動・感覚



微細活動

工作活動を通し、指先でつかむ・通す・貼る・塗る・はめる・描く・切る等のトレーニングをおこないます
微細活動の玩具も利用します



粗大活動

身体を使っの全身運動の活動をします
体操教室（外部講師）や、近隣の公園を利用し
体力づくりや姿勢の向上、集団行動のトレーニングをおこないます



感覚活動

手で触る、身体で触れる、匂いを感じる等の感覚を養います
保有する感覚をさらに伸ばします



音楽活動

（リトミック・ダンス）

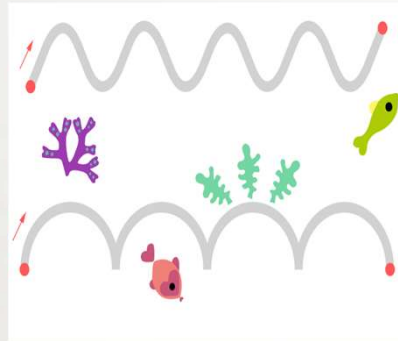
外部講師によるリトミックの時間に音とリズムに合わせたトレーニングをおこないます
体感発育形成に取り組んでいただきます

認知・行動



自立課題

発達段階や特性に応じて自立課題や制作活動の手順書を提供しトレーニングをおこないます



運筆・試写練習

一人一人に合わせた運筆や試写練習をおこないます
指先の運動にも繋がります



時間の認知・行動

時間に流れがある事を理解し自身の行動の見通しを立てるトレーニングをおこないます



数量・大小・色当の認識

数の違い、物の大きさ、色の違いを玩具、自然にあるものを使い、理解を養います

言語・コミュニケーション



絵カード (PECS)

発達段階やと特性に応じて絵カード (PECS) を使用した支援をおこないます
自分の気持ちを他者に伝えるトレーニングになります



読み・書き・発声

一人一人に合った方法で読み・書き・発声のトレーニングをします
遊びの中で、状況を言語化するトレーニングもおこないます



朝の会・帰りの会

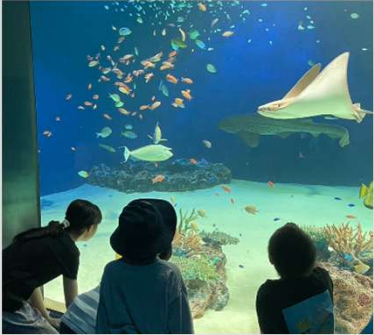
今日やりたい事、その日の出来事を皆でお話しします
自己の気持ちを伝える力と相手の話しを聞く力の形成トレーニングをおこないます



あいさつ

朝や帰りの挨拶だけでなく「○○ください」等の要求や返答に対応する事を学びます

言語・コミュニケーション



外出活動

土日祝日や長期休暇の際
各テーマを決め地域の商業
施設や公共施設に
外出活動をします
集団行動、社会のマナーと
ルールを学びます

レクリエーション

教室、近隣の公園で
レクリエーションを行います
遊びを通じて様々な
体験、人間関係の構築
を図ります

安全基地

安心感（安全基地）を意識
した働きかけと
環境整備を行います
安心できる人・場所を設ける
ことで子どもたちが前向き
に動ける環境の教室を
心がけます

遊びの支援

「一人で遊ぶ」から
「真似して遊ぶ」
そして「役割分担やルールを
守って遊ぶ」
と徐々にトレーニング
をおこないます

支援手順

フェイスシート

援助を目的とした情報収集に使用される

利用者の基本データ

利用児の氏名・年齢・家族構成・健康状態などの基本データをまとめる書類
詳しく自己紹介していただきこれからの支援の基となるデータとなります

アセスメント

利用者の生活環境やニーズを把握・情報収集し、分析すること

保護者の方から子どもの生活情報・課題を領域ごとに収集して分析します。
個別支援計画策定の重要な過程になるため総合的な判断をします。

個別支援計画の作成

個々の発達段階や障がいの状況、アセスメントでヒアリングした内容でのサービス提供の目的と計画を作成。
短期・中期・長期の目標を計画します。
(5領域を考慮し作成)

モニタリング

利用者の経過観察をし、把握すること

児童発達支援管理者と共に児童指導員及び指導員が個々の子どもたちの療育の進捗を確認し、子どもの発達を把握します。

療育の提供

個別支援計画の基づき、児童指導員及び指導員は個々の課題に取り組める環境を提供し、療育及び支援を進めます。
保護者の方への連絡・相談もします。

個別支援計画の見直し

モニタリングを基に個々のサービス提供の目標と計画を見直します。




初回のみ



6ヶ月以内に見直し

以後ご利用中は6ヶ月以内に繰り返し



移行支援

- ・ 保育園・幼稚園を併用している利用児の連絡調整を行い、必要に応じて移行支援。
- ・ 利用児の通う園や学校に施設訪問し、情報交換・共有・連携を図る。
- ・ 教室内で習得した行動や言動を園や学校、家庭で達成できるように目指す。

家族支援

- ・ 利用児を支える保護者・家族のレスパイト（休息・息抜き）に対応する。
- ・ 利用児の発達状況を相互に理解し合えるよう定期的に情報交換を実施する。

地域支援

- ・ 地域行事への参加
- ・ 地域の公園に行き、地域の方々や同年代の子どもと交流。
- ・ 法人内の各教室との交流。
- ・ 保育園・幼稚園に訪問し情報共有。
- ・ 自立支援協議会等への参加

職員の質の向上

- ・ 業務提携先の社内研修に参加
- ・ 資格取得への積極的な推薦
- ・ 子どもに関係する機関との連携会議への参加
- ・ 事業所内スタッフ全員への研修（虐待防止・身体拘束・感染症等）参加

